

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	市長公室	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	IV-12
個別施策	② シティ・プロモーションの推進
個別施策の方向	つくば市には、筑波山に代表される自然や歴史、世界に誇る科学技術といった魅力ある資源が豊富に存在する。これらの魅力を発信するため、つくば市全体が主体となり”オールつくば”でシティ・プロモーションを推進し、誘客及び定住の促進を図る。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	14,628	人件費	26,975	事業コスト	41,603				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	14,628
H28年度	決算	事業費	23,562	人件費	29,720	事業コスト	53,282				
	事業費内訳	国庫支出金	1,177	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	22,385
H29年度	決算	事業費	25,474	人件費	42,722	事業コスト	68,196				
	事業費内訳	国庫支出金	3,355	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	22,119

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	20.7%	27.9%	7.2%
34) シティ・プロモーション			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	戦略的にプロモーションを進めるために、対象を明確にし、他の事業・施策との連携や市民の参画、結果のフィードバック等も含めさらなる展開を図っていただきたい。	

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・つくばの魅力を発信し誘客及び定住の促進を図るため、情報発信ツールの整備 ・シビックプライドや市への愛着心を醸成するため、大学生と協働でPR事業を実施 ・職員に市のプロモーションに対する意識啓発とスキルアップを目的とするセミナーを実施 ・地方創生推進交付金を活用し、移住・定住促進イベントの実施、動画や広報物を制作
成果	<p>【プロモーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学生と協働でつくばの魅力を発掘し発信する取組を実施（冊子・マップの制作等） ・職員向けにプロモーションに対する意識啓発・スキルアップを目的とするセミナーを27年度に4回、28年度に6回、29年度に4回実施 <p>【移住・定住促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住イベント実施（28年度：都内で7日、29年度：都内で2日・市内で2日） ・動画制作（8本）、広報物制作（4種類）
今後の課題	<p>【プロモーション事業】</p> <p>公式FBの「いいね数」、公式インスタグラムのフォロワー数を増加させるため、今後も継続的に公式SNSの整理集約や大学生協働事業の実施、職員向け意識啓発・スキルアップを目的とするセミナーの開催を通じて、つくばの魅力を効果的に発信していく必要がある。</p> <p>【移住・定住促進事業】</p> <p>各自治体において移住・定住施策が活発化しており、他の自治体と差別化した効果的な施策展開をしていく必要がある。</p>
改善目標	<p>【プロモーション事業】</p> <p>市公式SNSの整理集約を進め、インフルエンサー（情報を広く拡散できるなど他者の行動に強い影響を及ぼす人）にはたらきかける効果的な情報発信を行う工夫をすることで、FBの「いいね数」、インスタグラムのフォロワー数を増加させていく。</p> <p>【移住・定住促進事業】</p> <p>関係人口の創出に向けた効果的な情報発信とともに、対象を明確にした上で定住を検討する方々に対して訴求力のある事業へリメイクしていく。</p>

自己評価（所管部署評価）	
自己評価記述	<p>プロモーション事業、移住・定住促進事業ともに積極的に取組みを進めているが、今後はまちづくりアドバイザーからの助言を得ながら、インフルエンサーを意識した効果的な情報発信によるプロモーションや、市として一貫性のある移住・定住施策を展開していく必要がある。</p>